

平成20年10月22日

国土交通省道路局長 様

栗東市長 國 松 正



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、日頃から道路行政にご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

栗東市をはじめとして、滋賀県南部地域における国道1号栗東水口道路や国道8号野洲栗東バイパスの事業促進におきましても、格段なるご高配を賜り心より感謝申し上げます。

さて、道路特定財源等についての一般財源化への閣議決定をされる中、今後の社会資本整備重点計画や地方ブロックの社会資本の重点整備方針、広域地方計画の推進にご尽力頂いていることと存じます。

地方といたしましても、住民生活に密着した道路行政の推進が求められており、安心・安全は基より、癒しの環境づくりやまちづくりの活性化の源となる将来的な基盤づくりの道路整備に取り組んでおります。

つきましては、別添の資料を送付いたしますので宜しくお取りはかりをお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

滋賀県 栗東市

基幹道路や国道整備は、短期間に集中して施行をお願いしたいと考えます。多大な交通量が工事の通行規制等により、長期の間の渋滞を招き、生活道路が通り抜けされる事態が発生し、周辺集落の住民の安全が確保出来なくなっている状況があります。

近年の市行政の財政的な緊縮から、道路整備が必要な事業に着手し難い状況であります。国庫補助の事業整備においても、国庫補助率の増大を検討して頂きたい。基幹道路や国道・広域道路の渋滞緩和も、市整備であります補助幹線道路が一部、担っていると考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②—1 地域の現状と抱える課題

滋賀県 栗東市

○現状

都市計画道路の決定が昭和30年代にされており、現状の交通量とそぐわなくなっている。

既に整備済み道路でありながら、交通量の増加により慢性的な渋滞発生や沿線土地利用環境からの歩道整備の要望が多い。

○課題

JR東海(盛り土構造)の横断道路築造等、関係機関との協議より難航工事やコスト高となる。また、現在での都市計画道路のルート変更は容易ではない。

既設道路であることから、道路拡幅用地の確保が容易でなく、また近年の集中豪雨の雨水排水対策も難しい。

②ー2 地域の目指すべき将来像

滋賀県 栗東市

栗東市は、旧東海道・旧中山道の通過に伴い、国道1号・8号が整備され、また名神高速道路の開通による栗東インターチェンジの設置から関東・中京圏から関西圏を結ぶ交通の要衝として、産業経済の目覚ましい発展を遂げて参りました。

しかしながら、予想以上の交通量増加により、国道1号・8号は慢性的な渋滞が発生するという負の要因も発生してまいりました。

地域の目指す将来像としては、

・主要道路の渋滞解消の対策。

国道1号・8号のバイパス整備の推進を早期に実施頂くよう国に要望しており、道路財源確保に努めて頂きたいと要望します。

渋滞解消により、企業等の産学立地の条件も整い、誘致の推進が図れる。

・交通弱者に安心安全な生活道路を確保する。

交通の流れを、通過交通の処理、広域的な連絡道、それを補完する補助幹線等、それぞれの役割を担う道路の位置づけにより、生活道路の安心安全が確保出来ると考えます。また歩道敷地の確保整備も併せて実施する。

・歴史的街道の保全と活用。

旧東海道・旧中山道の歴史的街道を保全、また復元することによりまちづくりの活性化を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

滋賀県 栗東市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
①都市基盤の充実 した幹線道路の 充実	①都市計画道路の整備	①広域的な幹線道路の整備による流通道路の確保や 市内主軸道路網の整備により経済発展に期待が出来る。	
②市民生活に密着 した生活道路の 充実	②通学路や歩道施設の 整備と防災道路の確保	②通学児童等、交通弱者の安全確保により交通事故率 の低下に期待が出来る。 また火災や地震・天災による避難道路等、緊急道路の 整備により市民の安心・安全環境が充実出来る。	あんしん歩行エリア事業